

長野県大町市 病院事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

（1）収益確保の取組（29年度決算対比による増収）

①許可病床数削減による入院、外来収益の増加

平成30年7月から許可病床数を278床から199床に変更したことに伴い、「地域包括ケア病棟入院基本料1」の施設基準取得、外来管理加算や特定疾患療養管理料などが算定可能（1億300万円増収）

②診療報酬上の機能評価係数向上に伴う入院収益の増加

一般病棟における機能評価係数Ⅱを向上させる取組による増収
（7,000万円増収）

③平成30年4月の診療報酬改定に伴う入院収益の増加

在宅復帰機能強化加算、療養病棟夜間看護加算等の診療報酬点数改定
（1,750万円増収）

④在宅療養支援病院施設基準取得による外来収益の増加

平成30年11月に施設基準を取得したことに伴い、初診時機能強化加算、在宅時医学総合管理料等が算定可能（1,900万円増収）

⑤ベッドコントロールなど効果的な病棟受入等による収益増化

（2,100万円増収）

（2）コスト削減の取組（29年度決算対比による削減）

①給与及び賞与の抑制

- ・ 正規職員の給料月額2.3%～3.8%を平成31年1月から削減、賞与を年間0.4月削減
- ・ 事業管理者の給与について、職員削減額を考慮し、給料月額の約7.3%を削減
（8,000万円削減）

②各種手当の見直しによる削減

病棟勤務職員等の休日勤務手当を振替休日取得に変更など
（1,900万円削減）

③業務の効率化による時間外勤務手当の削減（2,600万円削減）

④診療材料費の単価交渉、価格見直しなどによる削減（1,500万円削減）

（3）その他の取組

①一般会計からの繰入金

経営健全化計画に基づき、一般会計からの繰入金を確保
（9億2,000万円）

②一般会計からの長期借入金

市との協議により1億5,900万円を借入

③一時借入金の減少

収支改善により元年度末残高は、当初計画の12億円から決算においては9億円となった。(前年度末より4億円減少)

④継続的な医師の確保対策

元年度の常勤医師数は、30年度末の19人から21人に増加

⑤臨床研修等の充実

信州大学医学部の臨床研修病院として、初期臨床研修医 4人、専攻医(後期臨床研修医) 2人を採用し、研修体制の充実が図られた。

⑥人材育成等の取組

人事評価制度の令和5年度からの本稼働を目指し、人材育成事業を開始

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計 画 初 年 度 (平成30年度)	第 2 年 度 (令和元年度)	第 3 年 度 (令和2年度)
当初計画 A		18,000	100,000	136,000
解消実績額 B		102,545	384,540	—
現在計画 C		—	—	343,000
B-A 又は C-A		84,545	284,540	207,000
資金不足額		859,747	757,202	372,662

年度 区分	第 4 年 度 (令和3年度)
当初計画 A	56,000
解消実績額 B	—
現在計画 C	29,662
B-A 又は C-A	△26,338
資金不足額	—

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

区分	年度	計画初年度 (平成30年度)		第2年度 (令和元年度)		第3年度 (令和2年度)
	計画初年度の 前年度	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	22.0	20.6	18.1	17.8	8.8	14.5

区分	年度	第4年度 (令和3年度)
		計画値
資金不足比率		13.2

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・経営健全化に向けた具体的な方策等について職場集会や労使交渉などを通じて職員への情報提供や意見聴取を行い、経営改善への意識改革に向けた取組を進めた。